

採択理由

プログラム名：国際共同研究の推進

(1) 先端技術創出国際共同研究

課題名：デング熱の発症と病態に関連する遺伝因子の同定

代表者名：松田 文彦

所属機関名：京都大学

コメント

デング熱は、今後地球温暖化によって、日本への上陸が危惧され、その対策が重要と考えられている感染症である。本提案は、このデング熱の発症に関する遺伝因子を、タイのマヒドン大学と共同で同定し、デング熱対策に資することを旨とする提案であり、その社会的意義は大きく、臨床検体とデータ採取に実績のある機関と共同研究を実施する意義を評価した。このような十分な数の検体を詳細かつ迅速に解析することが求められる研究分野では、検体収集が特に重要であり、そのための方策や準備などにも留意して、成果につなげられたい。なお、デング熱に関する国内の他の研究者や他大学の拠点とも緊密な情報交換を行っていただきたい。